

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人

佐世保市社会福祉協議会

目 次

佐世保市社会福祉協議会事業報告	P
事業概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
地域福祉推進事業	・ ・ ・ ・ ・ 2
【施設事業報告】	
介護事業所	・ ・ ・ ・ ・ 14
勝富授産場	・ ・ ・ ・ ・ 16
須佐保育園	・ ・ ・ ・ ・ 17
吉井北保育園	・ ・ ・ ・ ・ 19
児童センター	・ ・ ・ ・ ・ 21
老人福祉センターやすらぎ荘	・ ・ ・ ・ ・ 24
老人福祉センターあたご荘	・ ・ ・ ・ ・ 26
老人福祉センターよしい荘	・ ・ ・ ・ ・ 28
宇久高齢者生活福祉センター慈恵苑	・ ・ ・ ・ ・ 30
江迎高齢者生活福祉センター榎の木庵	・ ・ ・ ・ ・ 31
宇久地域包括支援センター	・ ・ ・ ・ ・ 32

平成28年度 事業報告

事業概要

近年急速に進む少子高齢化や核家族化に伴い、家族の形が大きく変化し、また家族と社会とのつながりが希薄になっているため、社会的孤立などによる家族が抱える生活課題が潜在化してしまい、解決の糸口を見いだせない世帯が増加している。

こうした課題解決に向け、本会においては、第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、従来の地域福祉活動の促進に加え、生活困窮者自立相談支援事業や成年後見センター事業などの総合相談機能や生活支援の取り組みなど、個別支援の強化に取り組んだ。

また、地域包括ケアシステムの構築に向けた、生活支援・介護予防の充実を推進することを目的とした「生活支援体制整備モデル事業」を受託し、中里皆瀬地区の2町内会において、さまざまな取り組みを実施した。

さらに、高齢者、障がい者、児童などの分野ごとに区切られた公的な制度では対応できない課題や、福祉ニーズに対応する一つの取り組みとして、地域住民が気軽に集い交流できる拠点としての、「地域共生サロン」づくりを推進するとともに、孤立・ひきこもりの防止、健康・生きがいづくり、交流や仲間づくり等を目的とした「ふれあいいきいきサロン」の新規開設や既存のサロン活動の支援を積極的に行った。

そのほか、ふくし教育の理解と事業計画の協議等、推進体制の整備を進めるとともに、社会的包摂を考える学習会の開催や、ふくし教育実践指針に基づくプログラムをモデル地区3地区で実施した。

平成29年4月1日より施行された改正社会福祉法に則った定款の変更、並びに役員体制等を整備するとともに、第3次発展・強化計画を策定し、社会福祉の担い手として、さらに高い公益性を担保するべく経営組織の強化を図り、質の高いサービスを提供できるよう職員間の情報共有や職員研修を行いながら、佐世保市社会福祉協議会の基本理念である、「市民一人ひとりが心豊かに安心して暮らせる福祉のまち」の実現を目指した。

地域福祉推進事業報告

1 自立支援を促すための取組み（個別支援）

（1）孤独から要支援者を守るための取組み

①話し相手ボランティア養成派遣事業

一人暮らしの高齢者などが孤独感や不安などを解消できるように、精神面を支え、心豊かな生活の支援を目的に実施した。

- ・養成講座 H28.6.30 大野地区公民館 参加者 21 名
H28.11.24 江迎地区公民館 参加者 16 名
- ・派遣事業 活動件数 24 件（内新規 8 件） 延べ 243 回活動
- ・定例会 11 回 参加者延べ 93 名
- ・登録者数 100 名（内活動者 24 名）

（2）要支援者を資金的に支援するための取組み

①資金貸付事業

○長崎県生活福祉資金貸付事業

失業者世帯、低所得者世帯、高齢・障がい者世帯等の経済的自立や生活意欲の助長を促し、安定した生活を営むことを目的に資金貸付けを行った。

○佐世保市福祉資金貸付事業

市内に 1 年以上居住し、生活が困窮な世帯で、生活再建に必要な融資を他から受けることが困難な世帯を対象に、無利子で小口資金の貸付けを行った。

種 別	H28 年度		H27 年度	
	件数	実績額(円)	件数	実績額(円)
生 活 福 祉 資 金	107	52,392,000	184	116,002,000
臨時特例つなぎ資金	0	0	1	100,000
福 祉 資 金 (小 口 資 金)	348	7,287,000	382	8,172,290
計	455	59,679,000	567	124,274,290

※福祉資金欠損処分 25 件 500,000 円（住所不明 25 件）

②見舞金等配付事業

○災害罹災世帯への見舞金の支給

市内で発生した災害で被害を受けた被災者に対し見舞金及び弔慰金を支給した。

- ・火災見舞金 13 件（うち死亡弔慰金 2 件）

○福祉見舞金等の配付

歳末たすけあい募金の配分を受け、低所得世帯及び児童養護施設の入所児童等へ年末年始の生活支援のため見舞金を配付した。

区 分	配分額（円）	摘 要
低所得者世帯への見舞金事業	4,552,345	716 世帯
児童養護施設入所者への見舞金事業	246,000	82 名
子ども食堂実施団体への助成	100,000	4 団体
ホームレス支援団体への助成	100,000	1 団体（10名分）
火災罹災者への見舞金	0	0 件
貸出用福祉機器の購入	509,548	サロン遊具
事務諸費	100,000	
計	5,607,893	

○要援護世帯の小学校児童・中学校生徒への修学旅行費の助成

要保護・準要保護世帯の小学校児童及び中学校生徒へ修学旅行費（おこづかい）を助成した。

・小学校児童 354 名（@2,000） 中学校生徒 369 名（@3,500）

（3）要支援者の権利を擁護するための取組み

①日常生活自立支援事業（県社協委託）

判断能力が十分でないために、地域で自立した生活ができない方（認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等）を対象に、利用者との契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の代行を行い、安心した生活ができるよう支援した。

- ・契約者数 185 名（新規 57 名、解約 25 名）
- ・専門員 4 名
- ・生活支援員 12 名

②高齢者あんしんセンター事業（市委託）

意思能力の低下により自分で意思を決定することや、表現することが困難な人々が安定した地域生活を送られるよう支援を行った。

- ・書類等の預かり ・福祉サービスの手続き ・金銭管理
- 実利用者数 17 名（継続 17 名、新規 0 名、解約 12 名）
- 利用者数 5 名（H29.3.31 現在）

③させば成年後見センターの運営

認知高齢者、知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない方に対し、家庭裁判所の選任により、佐世保市社協が成年後見人等となり、成年被後見人等が安心して生活を継続できるよう福祉サービス利用の契約等の支援を行った。

- ・問合せ件数 29 件 ・新規受任依頼 5 件
- 成年後見制度の総受任件数 11 件（補助 2、保佐 1、後見 8）

(4) 包括的・継続的な生活支援

①生活困窮者自立相談支援事業（市委託）

生活困窮者が経済的困窮状態や社会的孤立から脱却することを支援するため、相談窓口の設置、生活困窮者の把握、自立支援計画の作成、自立支援計画支援調整会議の開催などを行った。

- ・相談件数 630 件

対応内訳：情報提供など 265 件、他制度・他機関等へのつなぎ 241 件

本事業による継続支援 124 件

- ・自立支援計画作成件数 121 件

- ・支援調整会議開催回数 25 回

2 相互扶助を促すための取組み（小地域組織化への支援）

(1) 住民相互間の自立支援活動を通じた相互扶助の実現を支える取組み

①食事サービスへの助成

一人暮らしの高齢者や障がい者、高齢者夫婦世帯等を対象に、会食型や配食型の食事サービスを各地区の町内婦人部や福推協等が行っていることに対し、一食あたり 250 円を助成した。

また、食事サービスボランティアグループの活動に必要な専門知識の向上や料理に関する研修等を開催した。

- ・活動実績に応じた助成

57 グループ 対象者 2,754 名 延べ 14,541 食

- ・食事サービスグループ料理教室の開催

H29.1.30～H29.2.9 計 5 カ所 参加者 54 名

- ・食事サービスリーダー研修の実施

H28.8.25 テーマ：介護保険制度について 参加者 31 名

(2) 要支援者からの自主的・自立的活動を通じた相互扶助の実現を支える取組み

①ふれあいネットワーク支援事業

○ふれあいネットワーク

要援護高齢者及び身体障がい者等に対して、近隣の住民を中心としたネットワーク化を図り、その構成員が対象者を訪問し、安否確認や日常生活を支援することにより、安心して生活できる環境を整え、住民へのボランティア意識の高揚と育成を図った。

- ・対象者 1,015 ネット
- ・構成員 3,201 名

○愛のコールサービス

一人暮らしの高齢者等に対し、定期的に電話をかけて安否確認をし、孤独感を和らげるとともに、様々な相談に応じるほか、地域や他の機関への援助活動へ繋がった。

- ・対象者 34 名
- ・ボランティア 8 名
- ・通話件数 年間延べ 933 回

②ふれあいいきいきサロンの支援・推進

○ふれあいいきいきサロン情報交換会の実施

サロン代表者やボランティア、福推協会長を対象に市内 3 か所で実施した。

(社協事業の説明、レクリエーションの紹介・実践・活動内容についての意見交換など)

・H28.7.29 江迎地区文化会館 参加者 32 名

・H28.8.31 清水地区公民館 参加者 80 名

・H28.9.30 日宇地区公民館 参加者 30 名

○ふれあいいきいきサロンの開設の推進

福推協会長連絡会、地区総会、地区民児協定例会、町内役員会等でサロン活動の意義や必要性について、事例をもとに説明し開設をはたらきかけた。

また、サロン開設に向けたプログラムの内容や年間計画の作成支援をはじめ、福推協「地域ふれあい推進事業」による活動費の支援を行った。

運営費補助(1 回 1,000 円、年間 12,000 円上限)、立ち上げ等の経費(1 地区 50,000 円上限)。

・サロン数 117 か所 新規開設 17 か所

・活動費の支援 21 地区福推協 活動費補助 743,000 円

※活動費補助には、新規事業の立ち上げに係る補助金を含む。

○ふれあいいきいきサロン・自主活動グループ(旧デイクラブ等)への支援

既存のいきいきサロン及び自主活動グループに対し、職員が訪問してレクリエーション等の実施や本会が所有する遊具の貸出を行った。

・職員訪問支援回数 264 回 遊具の貸出回数 362 件

③地域共生サロン(地域の居場所)づくり

ONPO 法人フリースペースふきのとう「星の風」の開催を推進した。

・ふきのとうを利用している若者らが手作り品を販売する店の開設。

○光園地区「祇園町 2 組公民館茶話やかサロン」の開催を推進した。

・毎週 1 回木曜日開催

○春日地区「桜木団地ひまわりサロン」の開催を推進した。

・毎週 1 回火曜日開催

3 地域の主体的活動を実践する取組み(地域福祉活動)

(1) 地域福祉(社会参加)を実現する地域の主体的活動を実践する取組み

①地区福祉推進協議会(福推協)との連携・支援

小地域における福祉活動や「地区地域福祉活動計画」の実践活動が着実に推進されるよう、地区担当職員が各地区の定例会や総会等へ参加して企画や提案、関係機関・団体との調整など、その地域の特色を活かした活動の支援に取り組んだ。

特に、いきいきサロンの立ち上げ等については積極的にはたらきかけを行い、新規サロンを増やすことにつながった。

また、福推協会長連絡会や福推協の構成員を対象とした研修会を市内 6 ブロックで開催し、福推協の役割の認識を深め、各地区における福推協活動の活性化に取り

組んだ。

《福推協会長連絡会》

- ・H28.10.7 地区自治協議会と福推協との調整について他
- ・H29.1.11 生活支援体制整備モデル事業の取り組み他

《福推協ブロック別研修会》

テーマ：「住民参加による支え合いのまちづくり」

～誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指して～

講師：元長崎国際大学教授 山本主税 氏

- ・H29.2.23 清水地区公民館 参加者 119 名、山澄地区公民館 参加者 79 名
- ・H29.2.28 労働福祉センター参加者 141 名、広田地区公民館 参加者 110 名
- ・H29.3.3 相浦公会堂 参加者 132 名、吉井地区公民館 参加者 36 名
参加者合計 617 名

②33 地区福祉推進協議会の活動費の一部を助成

福祉推進協議会組織の強化と円滑な運営及び地域福祉活動を推進するための活動費の一部を助成した。

- ・社協会費還元金（地区の30%）、共同募金配分金（地区の5%） 2,613,900 円
- ・福推協「地域ふれあい推進事業」補助金 21 地区福推協 743,000 円

③福推協活動の手引き（改訂版）の作成

総会や研修会等で配布し、意識づけを図っていくため福推協構成員を対象とした手引書を作成した（2,000 冊）。

（2）地域活性化モデル事業

高齢化が急速に進んでいる離島地域の黒島地区をモデルに、住民を主体とした自立性の高い地域福祉活動が行われる環境づくりを支援し、地区の課題解決に向け、地域による実践活動が推進されるよう次の事業を実施した。

○「黒島ハッピー隊」の活動支援

「地域共生サロン」（黒島ハッピーカフェ）の開催支援や県外研修への参加を支援した。

○公開講座の実施

- ・黒島地区住民を対象に介護予防に関する記念講演会の実施
テーマ「黒島でいつまでも元気に暮らすために」
講師：元長崎大学副学長 松阪誠應 氏 参加者 88 名
- ・認知症サポーター養成講座の実施
講師：サンホーム江上管理者他 参加者 32 名
- ・在宅リハビリ推進員養成講座の実施
講師：耀光リハビリテーション病院 理学療法士他 参加者 16 名

○黒島地区保健・医療・福祉連携会議の開催

島内で独自に介護予防活動を進めるため、保健・医療・福祉関係者及び住民によって構成する会議を開催した。（2回開催）

構成メンバー：医師、看護師、保健師、介護福祉士、民生委員児童委員、連合町内会長、パッピー隊、市役所黒島支所

○くろしま健康づくりと介護予防推進プロジェクトの設置（会議実施）

「くろしま健康づくりと介護予防の島推進計画」を推進するために島内の必要なメンバーによるプロジェクトチームを設置し、会議を実施した。（2回）

○「NPO 法人フリースペースふきのとう」の活動支援（ソーシャルファーム）

ひきこもりの若者やその家族を支援する NPO 法人ふきのとうの活動を支援するために、黒島地区の荒廃農地での農作物作り、その販売を支援した。

・活動実績：計5回、内容：（玉ねぎ、パセリ、ジャガイモの植えつけなど）

（3）生活支援体制整備事業（市委託）

地域包括ケアシステムの構築に向けた、生活支援・介護予防の充実を推進することを目的とした「生活支援体制整備モデル事業」を受託し、中里皆瀬地区の2町内会（中里町下、皆瀬町2組）で様々な取り組みを実施した。

- ・福祉マップづくり
- ・課題把握のための訪問ヒアリング調査
- ・生活支援体制整備モデル事業における協議体の設置・開催（4回）
- ・ふくしまちづくりワークショップの開催
- ・生活支援サービス実態調査
- ・ボランティア養成講座の開催など

4 自立支援・相互扶助・地域活動を実践するために必要な基盤整備

（1）施設基盤整備

各施設の年度ごとの整備状況表を作成し、老朽化した建物の整備計画を立てる基礎資料とした。

（2）情報基盤整備

①社会資源情報の収集整備（くらしに役立つ福祉情報ガイド）

ホームページ上に掲載している、佐世保市の福祉に関する相談窓口や各種福祉サービスに関する情報、NPO・市民活動団体等の情報を随時更新するとともに、新たな情報を掲載し、市民への福祉に関する情報提供に努めた。

（インフォーマルサービス：6月に更新、フォーマルサービス：9月に更新）

②地域福祉カルテの作成

福推協を単位とする圏域において、基本情報（人口・高齢者人口他）、社会資源の状況、地理的特徴や交通・生活の利便性、地域の課題・特性などをまとめ、その地域に応じた既存の事業・活動の改善や新たなインフォーマルサービスなどを検討するための基礎資料として作成した地域福祉カルテの情報の定期更新に努めた。

(3) 人材基盤整備

①ボランティアセンターの運営

市民のボランティア・NPO・市民活動への参加を広く呼びかけるとともに、活動が浸透するための事業や支援をしていくことで、市民のボランティアに対する理解、参加を促進し、地域の活性化につなげた。また、ボランティア活動者に対して定例会や電話、面接等でフォローアップを行い、意識向上につなげた。

- ・ボランティア登録者 個人 287 名・団体 55 グループ (3,416 名)
- ・ボランティアセンター別館研修室の貸出 利用者数 1,909 名 (200 団体)

②ボランティア活動の支援

○ボランティアグループへの研修費補助

登録ボランティアグループ (登録 1 年以上) が実施する自主研修や、外部研修会参加に要する経費の一部を助成した。 10 グループ (435,000 円)

○ボランティア研修会等の開催

- ・ボランティア研修会の開催
(団体・リーダー向け)

H28.12.11 テーマ:「市民活動の壁を越える 0 円から 1 億円への道」

講師: 会議ファシリテーション協会代表理事 釘宮健一 氏 参加者 26 名
(個人向け)

H28.11.13 テーマ:「子どもを地域で支えるボランティア」

講師: 長崎国際大学 大西 良 氏

子どもと女性のエンパワメント佐世保 櫻井英子 氏 参加者 25 名

- ・ボランティア入門講座の開催

H28.5.21 日宇地区公民館 参加者 34 名

H29.3.19、26 中里皆瀬地区公民館 参加者 45 名

※生活支援体制整備モデル事業と連携して開催

○ボランティア活動保険加入促進事業

ボランティア活動者がより安心して活動に取り組むための環境整備、援助を目的として、活動中の事故を補償するため、「ボランティア活動保険」への掛金の一部を助成した。(1 人当たり 100 円) 加入者 4,959 名

③福祉人材バンク (県社協委託)

○福祉人材無料職業紹介事業

広域的な福祉人材確保対策の推進を図るため、求職者への就職斡旋及び相談受付を行いながら、地域住民や社会福祉施設・事業所が福祉人材バンクを積極的に活用できるよう広報・啓発を行った。

- ・求人件数 387 件 求職登録者数 207 名 就職者数 108 名
- ・求人相談件数 4,149 件 求職相談件数 3,646 件
- ・求人情報誌の送付 年間 793 部
- ・特定就職困難者雇用開発助成金 申請件数 7 件
- ・高年齢者雇用開発特別奨励金 申請件数 4 件

○福祉の就職合同面談会

福祉職場への就職機会の拡大、県北の社会福祉施設・事業所等の人材確保の充実を図るため開催した。

- ・アルカス SASEBO 参加者 55 名 採用者 19 名 介護体験参加者 15 名

○福祉の職場ミニ面談会

中途採用者を中心とした求人に対して、福祉職場への就職を希望する一般の方を対象に開催した。今回は、回数を増やして開催した。

- ・江迎ハローワーク 参加者 12 名 採用者 5 名
- ・アルカス SASEBO 参加者 32 名 採用者 4 名（2回開催）

○福祉職場への就職セミナー

福祉職への就職希望者を対象に、福祉の仕事に関する講義や現場職員の説明により、福祉職場についての理解及び就職意欲の向上を図った。

- ・労働福祉センター 参加者 41 名 新規登録者 21 名

○高校等訪問事業

学校、県北地域の施設等訪問 515 か所、江迎ハローワーク出張相談 23 回

5 災害ボランティアに関する取組み

（１）災害ボランティア活動推進事業

災害に備える減災活動、災害支援活動の演習を通じた市民の意識の向上に関係機関と協働で取り組んだ。

- ・佐世保市総合防災訓練への参加（参加者 35 名）
- ・市民向け災害ボランティア講演会の実施（参加者 125 名）

H29.1.17 テーマ：「あなたの街を守るのはアナタです」

（２）災害ボランティアネットワーク連絡協議会

関係機関が平常時から顔の見える関係を構築することを目的に、16 機関・団体による「災害ボランティアネットワーク連絡協議会」を開催した。

H28.8.25 熊本地震災害支援報告ほか

H29.3.30 災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会ほか

6 福祉教育の推進

（１）福祉教育・人材育成

①福祉教育の推進

市内小中学校からの相談に応じ、プログラムの提案や講師の紹介等の支援を行い、児童・生徒の「共に生きる力」を育むふくし教育を推進した。 小学校 11 校

②モデル地区におけるふくし教育実践プログラムの実施

早岐、九十九、世知原のモデル 3 地区の福祉推進協議会において、ふくし教育の理解と事業計画の協議等、推進体制の整備を進めるとともに、社会的包摂を考える学習会の開催やふくし教育実践指針に基づくプログラムを実施した。

③ふくし教育学習会の開催

ふくし教育の意義や必要性について関係機関が相互理解を深めることを目的としてふくし教育学習会を開催した。

・テーマ：「共に生きる地域づくりとふくし教育」 H29.2.20 参加者 188 名

講師：日本福祉大学教授 原田正樹 氏

④ふくし教育推進委員会の設置・開催

佐世保市においてふくし教育実践指針に基づく地域を基盤としたふくし教育を推進するに伴い、進捗状況や内部評価に対する助言を行うことを目的として 16 団体で構成するふくし教育推進委員会を設置し協議を行なった。

・ふくし教育推進委員会の開催 2 回

⑤地域福祉出前講座の開催

市教育委員会が作成する「佐世保市まちづくり出前講座」に、地域福祉を学ぶプログラムを位置づけ、依頼があった関係団体等に社協職員が出向き講座を行った。

○佐世保市まちづくり出前講座

実施回数：1 回 参加者 32 名

○社協による講座の中で地域福祉を学ぶプログラムを実施

実施回数：4 回 ・ボランティア入門講座 2 回 参加者 29 名

・話し相手ボランティア養成講座 2 回 参加者 37 名

⑥地域福祉講演会の開催

「居場所づくり」をテーマに、不登校ゼロの学校運営について話を聞くことで、地域での居場所づくりのヒントや社会的包摂について意識を高め、更には地域住民の連携やみんなで支える地域社会の実現を目指すことを目的として開催した。

・テーマ：「みんなの学校」が教えてくれたこと

・講師：大阪府立大空小学校初代校長 木村泰子 氏 参加者 286 名

7 広報啓発

(1) 活動啓発・情報収集及び提供

①社協だよりの発行

地域福祉を推進している各地区の福推協活動や、ボランティア活動及びその活動を支援している社協の取り組みを、市民に分かりやすく伝え、福祉意識の向上と地域福祉活動への理解と関心を深めることを目的に年 3 回発行した。

また、社協だよりの内容を CD に吹き込み、視覚障害者の方へ「声の社協だより」として配布するとともに、社協事務局及び老人福祉センター 3 カ所へサンプル CD を設置し、市民への周知を行った。

・社協だより 7 月、10 月、3 月（各 101,000 部発行 全世帯配布）

・声の社協だより 発行ごとに CD 70 枚作成

②社協「地域福祉かわら版よもいで」の発行

社協だよりを発行することができない時期のタイムリーな情報や、若い世代を含めた様々な世代が興味を持ち、地域福祉活動への理解を広げることを目的に年 3 回

発行した。

- ・5月、9月、1月（各3,500部発行 地区公民館、各学校、包括支援センター、ショッピングセンター等）

③ボランティア・NPO 関係広報紙「くれよん」の発行

市民にボランティア・NPOに関する様々な情報を提供し、活動への関心と理解を深め、活動参加へのきっかけになることを目的に年6回（各4,200部）発行した。また、マスコミ（新聞各社、佐世保市内のテレビ局、ラジオ局、タウン誌）に協力を依頼し、社協事業のPRに取り組んだ。

④ホームページによる広報

社協活動全般の紹介、また、地域福祉に関わる新しい情報の発信に努めた。

8 地域福祉活動への支援等

（1）地域活動支援

①福祉団体の支援

地域で活動する福祉団体へ運営費・事業費を助成し、その運営を支援した。

- ・民生委員児童委員協議会連合会及び主任児童委員部会
- ・老人クラブ連合会 ・視覚障害者協会 ・肢体障害者協会
- ・ろうあ福祉協会 ・手をつなぐ育成会 ・母子寡婦福祉連合会
- ・佐世保市遺族会 ・佐世保市保育会 ・青少年健全育成会

②社会福祉センターの運営

地域で活動する団体（個人）等へ会議室の貸出を行った。

- ・佐世保市社会福祉センター ・宇久社会福祉センター

③赤い羽根子どもの遊び場の整備

「赤い羽根子どもの遊び場」に設置されている、遊具、フェンス等の安全及び環境維持のため、4か所の遊び場に整備費を助成した。

④遊具・福祉車両・機器の貸出

地域で行われる催し物やサロン活動を支援するため、歳末たすけあい募金の配分金により新たに遊具を購入するなど貸出し用の遊具、備品の充実を図った。

また、公共交通機関を利用したの外出が困難な障がい者や、高齢者の通院等のために、福祉車両や、車椅子、ポータブルトイレなど介護用具の貸出し、そのほか小・中学校での福祉体験学習用具の貸出しを行った。

- ・貸出件数：サロン遊具 362 件、車椅子 123 件、福祉車両 4 件、高齢者疑似体験セット 19 件、綿菓子機・ポップコーン機 103 件、その他 54 件

9 その他

①共同募金運動への協力

○赤い羽根共同募金（H28.10.1～H28.12.31）

※募金総額の46%が、次年度の地域福祉活動事業へ配分される。（単位：円）

区 分	目 標 額	H28 年度実績	H27 年度実績額	摘 要
募金総額	40,927,000	27,930,136	28,146,869	目標額の68.2%
内 訳	戸別募金	29,627,000	17,091,187	17,405,528
	法人募金	2,000,000	1,973,000	1,892,000
	街頭募金	300,000	243,567	279,161
	職域募金	2,000,000	1,879,232	1,760,117
	学校募金	1,500,000	1,686,447	1,575,820
	特別募金	5,500,000	5,056,703	5,234,243
				民生委員扱 359 件 4,826,874 円 事務局扱い 19 件 170,694 円 自動販売機 3 台 59,135 円

○歳末たすけあい募金（H28.12.1～H28.12.25）

※募金全額を福祉見舞金等配付事業に活用した。（3ページ参照）（単位：円）

区 分	目 標 額	H28 年度実績額	H27 年度実績額	摘 要
募金総額	6,400,000	5,607,893	5,580,972	目標額の87.6%
内 訳	戸別募金	5,300,000	4,830,361	4,810,966
	一般募金	1,000,000	737,532	706,550
	法人募金	100,000	40,000	63,456
				街頭募金 6 回

②安定した社協事業活動を支えるため、自主財源の確保に努めた。

特にホームページにおいて福祉協力店として団体・法人会員の紹介、また寄付者のお知らせを行い会員加入の促進と寄付協力者の増を図った。

○社協会員の確保（単位：円）

種 別	口 数	H28 年度実績額	H27 年度実績額
一般会員	25,012	5,002,492	4,909,111
賛助会員	1,513	1,513,000	1,564,000
団体会員	145	725,000	1,005,000
特別会員	179	1,245,000	1,200,000
計	26,849	8,485,492	8,678,111

○社会福祉事業資金への寄付

(単位：円)

種 別	件 数	H28 年度実績額	H27 年度実績額
忌明寄付	60	1,563,000	1,721,130
一般寄付	37	1,668,583	1,623,897
指定寄付	1	108,000	108,000
物品寄付	3		
計	101	3,339,583	3,453,027

③要介護認定調査事業

長崎県から市町事務受託法人の指定を受け、佐世保市からの委託で、介護認定の申請をされた後に申請者を訪問し、日常生活動作など要介護認定に必要な調査事務を行った。 調査員 24 名（有資格者） 調査件数 10,746 件

④職員体制（H29.3.31 現在、兼務は除く）

(単位：名)

	正 規	嘱 託	臨 時	パート	合 計
事務局長		1			1
法人運営課	3	1	3	1	8
地域福祉課	13	9	2	1	25
福祉サービス利用支援課	0	27	1	0	28
在宅介護課・介護事業所(7事業所)	47	44	0	164	255
勝富授産場	2	2	0	4	8
保育園(2園)	12	13	5	15	45
児童センター(9センター)	14	12	1	14	41
老人福祉センター(3センター)	0	8	0	5	13
高齢者生活福祉センター(2センター)	1	2	0	4	7
宇久地域包括支援センター	1	2	0	0	3
合 計	93	121	12	208	434

介護事業所事業報告

介護事業においては、介護保険制度や障害者総合支援法等に沿って、きめ細やかな在宅サービスの提供を行った。また、利用者の自己選択、自己決定を尊重し、介護者や関係機関との連携を図り、職員間での情報の共有や全体研修会を開催するなど質の高いサービスを提供できるように努めた。施設整備においては、小佐々ふれあいセンターの建物取得や新たな運動機器を導入し、利用者が気軽に機能訓練などの運動が出来るスペースを設けた。

1 職 員 91名（正規47名・嘱託44名） パート職員164名 合計255名

2 居宅介護支援事業

利用者の介護保険による介護サービスを受ける時に必要となる居宅介護支援計画の作成、相談、サービス調整等を行っている。また、医療・保健・福祉サービスを総合的・効果的に利用できるよう提案し、住み慣れた地域で自立した生活が続けられるよう支援をした。

実績	佐世保	吉井	宇久	小佐々	江迎・鹿町	合計
H27 延人数	1,146	624	258	1,203	1,856	5,087
H28 延人数	1,191	885	397	1,311	1,980	5,764

3 訪問介護事業

家庭を訪問し、食事・入浴・排せつ等の介助（身体介助）や掃除、洗濯、調理等日常生活の支援、相談、助言（生活援助）のサービスを実施した。

実績	佐世保	吉井・世知原	宇久	小佐々	江迎・鹿町	合計
H27 延人数	15,192	11,494	3,240	8,439	10,059	48,424
H28 延人数	16,834	11,275	3,291	6,275	10,974	48,649

4 居宅介護事業

障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスのうち、訪問介護事業所のホームヘルパーが障がい者に対し、在宅で介護や家事等の日常生活の援助を行う居宅介護サービスを実施した。

実績	佐世保	吉井・世知原	宇久	小佐々	江迎・鹿町	合計
H27 延人数	3,471	1,157	102	368	911	6,009
H28 延人数	2,369	197	157	430	1,125	4,278

5 訪問入浴介護事業

・障害者訪問入浴介護事業

移動入浴車で家庭を訪問し、居室で簡易浴槽による入浴サービスを実施した。

実績	小佐々
H27 延人数	313
H28 延人数	409

実績	小佐々
H27 延人数	174
H28 延人数	103

6 通所介護事業

デイサービスセンターの施設に通り送迎や入浴、食事の提供、機能訓練等を行う日帰りのサービスを実施した。

実績	吉井	世知原	宇久（慈恵苑）	小佐々	江迎	鹿町	合計
H27 利用定員	30	35	30(15)	55	40	35	
H28 利用定員	35	35	30(10)	55	40	35	
H27 延人数	6,996	6,359	9,854	12,939	9,348	7,637	53,133
H28 延人数	8,389	7,090	10,741	14,216	9,122	6,723	56,281

7 認知症対応型共同生活介護事業（グループホームよしいの郷）

認知症の要介護者等が、介護スタッフとともに食事づくり、掃除、洗濯等を行って少人数で共同生活を行う事業を実施した。

実績	吉井（利用定員18名）		
H27 延人数	6,106	入居率	92.7%
H28 延人数	6,342	入居率	96.5%

8 移動支援事業（市受託事業）

一人で外出することが難しい障がい者（児）に対して、外出のための支援を行なった。

実績	佐世保	吉井・世知原	江迎・鹿町	合計
H27 延人数	273	2	41	316
H28 延人数	242	4	38	284

9 介護教室開催事業

介護方法の習得や介護サービスに関する情報等を内容とした介護教室を開催した。

実績	吉井	宇久	小佐々	江迎	合計
H27 参加者人数	41	12	20	36	109
H28 参加者人数	28	8	16	72	124

10 介護二次予防事業 通所型介護予防事業

（運動器の機能向上、認知症予防、口腔機能の向上）

高齢者が要支援・要介護状態になることを予防、改善し、できる限り自立した生活を送れるようになることを目的として実施をした。

実績	吉井	世知原	宇久	小佐々	江迎	鹿町	合計
H27 延人数	865	226	350	268	626	246	2,581
H28延人数	433	276	316	166	660	114	1,965

※主な取組

1. 介護事業検討チームやワーキンググループの会議を開催し第2次発展強化計画の5年目の計画に沿って事業を実施した。
2. 地域包括支援センターと連携し介護二次予防事業の運動器の機能向上、認知症予防、口腔機能の向上を積極的に取組み、介護予防に努めた。また、二次予防事業を終了した方に対して憩いの場を提供し茶話会や季節に合わせた企画等、継続的に交流を図った。
3. 江迎・鹿町居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所の統合を行い効率化を図った。
4. 吉井・世知原訪問介護事業所の統合を行い効率化を図った。
5. 地域のいきいきサロンやふれあい食事会等に出向き、介護相談や介護サービスに関する情報提供に努めた。
6. 職員の質の向上を目指し、全体研修、事業別研修会や介護支援専門員、介護福祉士の資格取得に向けた研修会を開催した。（介護支援専門員1名、介護福祉士5名取得）
7. 介護事業所カレンダーの作成、広報誌の発行、ホームページへの掲載を行い、広報啓発に努めた。

勝富授産場事業報告

社会福祉法による授産施設の趣旨に基づき、低所得者や障がい者等を対象に、作業の提供をとおりて社会生活の能力を高めるとともに、知識や技能習得の向上を図った。

1 職 員

場長 1 名、指導員 3 名（縫製部 2、軽作業部 1）、パート職員 4 名 計 8 名

2 利 用 者 （定員 20 名）

区 分	年 度	男 性	女 性	合 計
縫 製 部	H28 年度	2 名	4 名	6 名
	H27 年度	1 名	4 名	5 名
軽作業部	H28 年度	3 名	5 名	8 名
	H27 年度	4 名	5 名	9 名
合 計	H28 年度	5 名	9 名	14 名
	H27 年度	5 名	9 名	14 名

（3 月末現在）

・利用者の内訳

①生活保護 6 名 ②みなし保護 6 名 ③基準該当就労継続 B 型 2 名

3 作業内容

- ・縫 製 部 紳士服、婦人服の補正及び作業着等の縫製
- ・軽作業部 紙箱等の組立、割箸の袋入れ、シール貼り他簡易作業、網戸の張替

4 受注件数及び金額

区 分	年 度	件 数	金 額
縫 製 部	H28 年度	1,544 件	3,455,368 円
	H27 年度	1,575 件	3,409,005 円
軽作業部	H28 年度	529 件	1,264,076 円
	H27 年度	446 件	1,405,015 円
合 計	H28 年度	2,073 件	4,719,444 円
	H27 年度	2,021 件	4,814,020 円

5 工 賃

区 分	年 度	支 払 総 額	1 人平均月額
縫 製 部	H28 年度	1,928,309 円	26,011 円
	H27 年度	2,278,305 円	30,579 円
軽作業部	H28 年度	1,174,582 円	11,188 円
	H27 年度	1,286,815 円	11,476 円

6 月平均出勤日数

・縫製部 19 日 ・軽作業部 16 日 （平均作業日数 20 日）

須佐保育園事業報告

児童福祉の理念に立って、よりよい保育環境を整え、それぞれの年齢、能力、個性に応じた養護と教育が一体となった保育を進め、健やかな身体、豊かな情操、正しい社会性、道徳性の芽生えを培い、心身ともに健全な人間形成の基礎を養い感性を高めるよう努めた。

また、保育環境並びに安全面に配慮して、園舎奥にあった事務室を玄関近くに移動し、各保育室の改修工事を行った。

1 保育園の運営

(1) 定 員 70名 月平均87名(前年度 月平均84名 年間1007名)

年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

園 児 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳 児	3	4	4	5	6	6	10	10	11	12	12	13	96
1～2歳児	32	33	33	33	33	34	34	34	34	33	34	34	401
3歳児	17	16	16	16	16	16	16	16	16	17	17	17	196
4歳以上児	28	29	29	29	29	30	30	30	30	29	30	30	353
計	80	82	82	83	84	86	90	90	91	91	93	94	1,046

(2) 職 員 23名

園 長 1名 主任保育士 1名 保 育 士 16名(常勤13・パート3)

調理員 4名(常勤3・パート1) 看 護 師 1名(パート)

2 保育内容

(1) 保育目標

・じょうぶなからだ ・つよいところ ・おもいやりのところ ・つくりだすちから
4つの目標を柱に、いろいろな経験と人との関わりを大切にする保育に努めた。

(2) 開所時間 午前7:00～午後7:00

(3) クラス編成

0歳児クラス(つくし組) 1歳児クラス(すみれ組) 2歳児クラス(なのはな組)
3歳児クラス(もも組) 4～5歳児クラス(さくら組)

(4) 主要行事

4月	入園対面式 歓迎遠足(佐世保公園)
5月	美化プロジェクト(種まき) 内科健診
6月	運動会 保育参観 さくら組芋さし(柚木) 歯科検診 交通安全教室 美化プロジェクト(植付)
7月	プール指導(相浦) プール開き
8月	プール納め 美術館鑑賞
9月	お店屋さんごっこ 年長児の祖父母招待
10月	年長児街頭募金 年長児親子遠足(皿山公園) もも組遠足(森きらら) 歯科検診 交通安全教室 美化プロジェクト(種まき)
11月	お遊戯会 年長児公民館祭り 七五三参拝 保育参観 さくら組芋掘り(柚木) 松寿苑訪問 内科健診

12月	冬まつり 児童センター祭り 美し化プロジェクト(植付) クリスマス会・聖和コーラス交流会
1月	消防出初式 郵便やさんごっこ 縄跳び大会 交通安全教室
2月	豆まき 須佐神社節分祭 年長児・保護者との会
3月	ひな祭り会 卒園式 さくら組遠足(海きらら)

避難訓練(月1回実施) 誕生会(月末水曜日) 体育教室(月3回木曜日 4~5歳児)

(5) 特別保育事業

- ・延長保育推進事業(年間3,993名)
- ・世代間交流等事業(自主)
「元気にしてる?会」実施(高校1年4月・小学1年12月)
- ・園庭開放 育児相談(自主)

3 給食

- ・食材の味をいかにさせるよう薄味を基本とし、新鮮な旬の食材を使い、季節感のあるバランスの取れた献立を工夫した。
- ・アレルギー、体調の悪い子どもには、細心の注意をはらい調理工夫した。
- ・食事のマナーを知らせ、友達や保育士とおいしく楽しく給食がとれるようにした。
- ・0歳児…家庭での離乳食の進み具合を聞き、連携を取りながら行っていた。
1~2歳児…野菜を少しずつ大きめに切ったり、歯ごたえのある素材を取り入れた。
3歳以上児…副食のみ給食実施。クッキング保育を通して、食材や調理器具の使い方、料理の楽しさを知らせ、食育につなげた。

4 健康管理

朝の受け入れの際、丁寧に視診を行い、一日健康で楽しく遊べるように配慮した。

(1) 園児

- ・内科健診(田中医師 5・11月実施)
- ・歯科検診(品川医師 6・10月実施)
- ・尿検査(3歳以上児 年2回実施)
- ・フッ化物洗口(4.5歳児 週5日)

(2) 職員

- ・定期健康診断(年1回実施)
- ・検便(月1回実施)

5 職員研修・会議

(1) 外部研修

- ・園長会 主任保育士部会 給食部会 保育士研修会 他

(2) 園内研修

- ・給食検討会(月1回)メニュー等の反省を行い、より良い献立に努めた。
- ・研修(月1回)研修会の報告を行い、知識を深め合い保育技術の向上に努めた。
- ・会議(月2回)保育内容、行事の検討等を行い、保育内容の充実に努めた。

吉井北保育園事業報告

児童福祉法の理念に立って、よりよい保育環境を整え、それぞれの年齢、能力、個性に応じた養護と教育が一体となった保育を進め、健やかな身体、豊かな情操、正しい社会性、道徳性の芽生えを培い、心身ともに健全な人間形成の基礎を養い感性を高めるよう努めた。

また、老朽化した厨房と保育室を改修し、衛生面の向上並びに保育環境の整備を行った。

1 保育園の運営

(1) 定員 60名 月平均 52名(前年度 月平均 52名 年間 621名)

年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

月 園児	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
乳児	2	2	2	3	7	7	10	11	12	12	12	12	92
1～2歳児	17	17	16	17	17	17	18	20	20	21	21	21	222
3歳児	6	6	5	5	6	6	6	5	5	5	5	5	65
4歳以上児	22	22	22	21	20	20	20	21	22	22	22	22	256
計	47	47	45	46	50	50	54	57	59	60	60	60	635

(2) 職員

園長 1名 主任保育士 1名 保育士 16名(常勤 8・パート 8)

調理員 3名(常勤 1・パート 2) パート看護師 1名 計 22名

2 保育内容

(1) 保育目標

子どもたちは、未来に向けてのあらゆる可能性をそのうちに秘めている。日々の保育の中で伸びゆく芽を見つけ、愛情あふれる環境の中で大切に育てていくことを目標とし保育に努めた。

- ・のびのびと遊べる子ども
- ・友だちと仲良くできる子ども
- ・自然に親しみ、お年寄りやさしくふれあえる子ども

(2) 開所時間 午前7:00～午後7:00

(3) クラス編成

0歳児クラス(たんぽぽ組)

1歳児クラス(すみれ組)

2・3歳児クラス(もも・うめ組)

4・5歳児クラス(さくら・ひまわり組)

(4) 主要行事

4月	入園対面式 進級式 介護事業所落成お祝い(太鼓披露・年長組) 花祭り参加
5月	歯科検診 クッキング(グリーンピースおにぎり)4・5歳児
6月	交通安全教室 運動会 芋苗さし 内科健診 吉井北小観劇会参加 吉井北小2年生とのふれあい会
7月	吉井北小1年生とのふれあい会 セタ集会 プール開き タ涼み会 吉井中職場体験 美化プロジェクト(苗植え) 下直谷地区夏祭り(年長組生花展示) デイサービス訪問
8月	プール納め
9月	保育実習(西九州大学生) さくらプレイス訪問 交通安全教室 保育参観(試食会含) クッキング(野菜ピザ)4・5歳児

10月	吉井北小ふれあいコンサート 親子バス遠足(3歳児～5歳児親子) よしいの郷訪問 芋ほり 福井くんちまつり(太鼓披露) 福井くんち(道行参加)4・5歳児 保幼小吉井地区交流遠足
11月	吉井地区文化祭(太鼓出演・展示) 内科健診 下直谷敬老会 七五三 発表会 ふれあい発表会 クッキング(さつまいもマフィン)4・5歳児
12月	美し化プロジェクト(花苗植え)4・5歳児 保育参観 ディサービス訪問 黒髪山祭り(祥雲寺参拝) クリスマス集会 クッキング(クッキー)4・5歳児
1月	地域消防団による放水 郵便屋さんごっこ
2月	交通安全教室 節分集会 小学校との交流会 お店屋さんごっこ
3月	雛祭り集会 卒園式 年長組バス遠足 お別れ会 お別れ遠足(年少・年中・年長組) 修了式

[年間] たのしいリズム(外部指導 年20回) 弁当の日(年3回)

[毎月] 誕生会 身体測定 避難訓練

(5) 特別保育事業

- ・延長保育促進事業(延長保育事業)…年間延べ人数 820人
- ・世代間交流事業…単独事業(年5回実施延べ人数 200人)
- ・異年齢児交流事業…単独事業(年1回実施 40人)
- ・一時預かり事業…単独事業(年間延べ人数 323人 佐世保市・広域)
- ・園庭開放…単独事業(利用者なし)

3 給 食

友だちや保育士、更に調理員などと一緒に食事をする事で人とのかかわりを持って、楽しく食べることにより、料理をつくる人にも関心をもたせた。また、季節の野菜を育てたり、収穫した野菜等で調理をすることで食物に関心を持ち、できるだけ多くの食材や種類の食べ物や料理を味わえるよう工夫した。

安全面には特に留意し、国内産の食材を使用するように努め、特に離乳食やアレルギーを持った園児に対しての配慮を心掛けた。

4 健康管理

乳幼児の安全を守り、体調不良の子どもへの対応など健康面における対策に配慮し、健やかな成長を推進するように心がけた。

(1) 園児

- ・内科健診(園医 松瀬診療所…6月・11月実施)
- ・歯科検診(園医 法師山歯科医院…5月実施)

(2) 職員

- ・定期健康診断(年1回)
- ・検便(赤痢菌・サルモシ菌・大腸菌・O157)…全職員実施(毎月)

5 職員研修・会議

(1) 外部研修

- ・園長会 主任保育士研修会 給食部会 保育士研修会 他

(2) 園内研修・会議

- ・職員会(月1回以上) 行事等の内容を検討しあい、保育内容の充実を図った。
- ・給食検討会(月1回) 改善点を反映させ、よりよい給食を提供できるように努めた。
- ・研修報告会・会議(随時) 報告会、勉強会を重ねることで、職員各自の意識向上を図った。

児童センター事業報告

児童福祉法に基づき、児童に健全な遊びを与えその健康を増進し、情操を豊かにするとともに、地域における健全育成活動の拠点とし学校、児童クラブ、子ども会及び留守家庭児童保護者等との連携を図りながら様々な活動を展開した。

1 職 員

館長 9名（宇久支所長兼務 1） 児童厚生員 10名 嘱託児童厚生員 8名
パート職員 15名 計 42名

2 利用者状況

区 分	稲 荷	大 野	黒 髪	相 浦	早 岐	春 日	広 田	山 澄	宇久	合 計
開 館 日 数	293	293	293	293	293	293	293	293	293	293
利 用 者 総 数	7,332	6,148	16,475	6,449	6,164	7,988	16,831	4,853	8,989	81,229
一 日 平 均	25.0	21.0	56.2	22.0	21.0	27.3	57.4	16.6	30.7	30.8
登校日	最 高	72	134	91	44	48	51	80	55	87
	最 低	0	2	21	2	0	3	4	0	10
休校日	最 高	77	47	140	147	70	89	102	78	62
	最 低	1	0	3	3	0	6	0	0	0
利 用 届 数	223	135	325	387	279	211	280	233	89	2,162
幼 児 利 用 者 数	2,072	1,194	618	457	517	391	952	851	1,157	8,209
大 人 利 用 者 数	638	1,076	525	416	570	546	1,072	595	985	6,423
一 般 児 童 利 用 数	3,201	1,086	14,422	4,241	3,354	4,964	1,855	3,374	3,765	40,262
留守家庭児童利 用 数	1,421	2,792	910	1,335	1,723	20,87	12,952	33	3,082	26,335
留守家庭児童利 用 届 登 録 者	36	34	13	60	33	28	177	2	14	397

3 事業内容

児童センター利用児童の参加による運動遊びや体験学習などを通して、子どもの個別的、集団的援助活動を推進し、自主性、社会性、創造性を健やかに育てることを目的に次の事業を実施した。

（1）単館事業

①年間事業

各児童センターの自由な企画で年間を通して、季節行事、工作、クッキング、スポーツ、などを、地域のニーズや子ども達の状況に合わせた内容で実施した。

②子どもボランティア育成支援事業

子ども自身によるボランティアグループの育成を図り、その活動について支援した。

③自然体験活動事業

野外での活動を行い、子ども達の豊かな情操を育む事業を実施した。

④児童健全育成相談支援事業

児童及び保護者からの相談に応じ、関係機関と連携を図り個別または集団指導を実施した。

⑤年長児等来館促進事業

中高生にイベントへの参加協力を依頼し、来館促進に繋がるよう事業を実施した。

(2) その他事業

- ・ホームページやセンターだよりなどによる児童センター活動情報及び子育て支援情報の提供
- ・子育て支援、親子交流事業として幼児を対象とする特別開館の実施。

(3) 青空児童館

児童の健全育成を推進する団体からの要望を積極的に受け入れ、遊びのプログラムを提供すると共に地域交流に努めた。

また、広報活動として青空児童館のポスターやチラシを作成し、小学校や子ども会及び地区の主任児童委員等へ配布した。

① 派遣型青空児童館： 14 か所 参加者 546 名

② 遊具の貸出： 3 件

③ 四ヶ町・三ヶ町アーケード内でのイベント参加

「まちなかウォーキングスタンプラリー」 H28.7.18

簡単工作やペンシルバルーン、遊び場の提供、広報活動を行った。

(4) ふれあい交流事業

児童センターが地域社会の中で児童健全育成活動の拠点としての役割を担っていることを広く市民に知ってもらう機会となった。また児童が多くの人達とふれあうことで責任感・充実感および満足感を味わい、豊かな心を育てるとともに地域、保護者、関係団体とのネットワークの強化を図った。

◎ 羽ばたけ児童センターまつり H28.12.4 (山澄児童センター及び山澄地区公民館)

市内の児童が交流できる場として、遊び・体験・展示・出演・軽食の5つのブースを設け、子どもたちが各係を担当し、来場者が自由にそれぞれのブースを楽しめるよう実施した。

○遊びブース (ゲームコーナー、かえっこバザール、つくって遊ぼう他)

○体験ブース (缶バッジ作り、避難所体験、木工体験、科学工作他)

- 展示ブース（園児や各児童センターすてきな写真、ワークショップ、作品展示他）
- 出演ブース（児童や保育園児による出し物、パネルシアター、紙芝居他）
- 軽食ブース（うどん&いなり、フランクフルト、たこやき、ワッフル他）

参加者延べ6,272名

協力団体：佐世保市主任児童委員部会・長崎県立大学鵬祭実行委員会・佐世保工業高等専門学校・長崎国際大学・他多数団体。

◎ 赤い羽根共同募金街頭募金活動 H28.11.12（四軒町アーケード内島瀬公園前）

児童が募金活動を体験することで、福祉に関心を持たせ、他人を思いやる心を育んだ。

参加児童 12名 募金額 57,680円

（5）一輪車大会 H28.10.2（佐世保市立黒髪小学校体育館）

一輪車を楽しく乗りこなし、さらに心身の能力を十分に発揮して、児童が健全に成長することを目的に、市内の全児童を対象に実施した。

○直線・曲線走など競技 ○アイドリング、片足走行など技能 ○演技（ダンス）披露

参加者265名（選手児童81名・参観児童25名・保護者116名・ほか43名）

（6）第20回「させぼわんぱくひろば」 H28.5.5（佐世保市体育文化館）

子育て支援団体として実行委員会に参加し、子ども達が楽しめる遊びを提供することで児童センターとしての役割を十分発揮できるよう協力した。

○「風船で作って遊ぼう」「ゴキブリたたき」 コーナー参加者 延べ1,482名

老人福祉センターやすらぎ荘事業報告

高齢者の皆さんが、健康で明るく心豊かな生活を営めるよう、多種目の教養講座による生涯学習の場を提供するとともに、健康相談、健康講話等による健康管理、浴場や休養施設による健康の維持、各種レクリエーションの場の提供等により、心身両面のリフレッシュに資するよう努めた。

また、施設整備においては、浴室棟外壁(ガラリ)塗装工事を行った。

1 職 員

所 長 1 主 事 1 管理員 2 パート職員 1 計 5名

2 利用者数

(1) 年度別

年度	利用者数 (名)	月平均 (名)	1日平均 (名)	開館日数 (日)	1日の利用者数	
					最高(名)	最低(名)
26	19,148	1,595	65	293	157	11
27	17,895	1,491	61	293	130	2
28	16,206	1,351	55	293	121	10

(2) 利用券別

(単位：名)

年度	総 数	回数券	老人券	一般券	学生券	団 体	無 料
26	19,148	16,591	1,958	158	3	59	379
27	17,895	15,740	1,903	109	0	24	119
28	16,206	14,180	1,715	65	3	59	184

3 利用料収入

(単位：円)

年度	利 用 料	月 平 均	1 日 平 均
26	2,351,050	195,921	8,024
27	2,172,260	181,022	7,414
28	1,970,710	164,226	5,545

4 健康相談者数 (単位：名)

年度	総 数	月平均
26	176	15
27	174	15
28	120	11

5 送迎バス利用者数 (単位：名)

年度	利 用 者 数
26	5,530
27	5,413
28	5,772

6 講座及びクラブ活動

講 座 名	部員数（名）	開催回数
表 装	30	週1回
茶 道	5	週1回
合 唱	4	週1回
カラオケ	9	月2回
書 道	16	週1回
詩 吟	4	週1回
社交ダンス	5	週1回
合 計	73	

ク ラ ブ 名	部員数（名）	開催回数
手 芸	5	週1回
水墨画	5	月2回
陶 芸	5	週1回
軽音楽	10	週1回
ソーイング	15	週1回
舞 踊	5	週1回
将 棋	28	毎 日
合 計	73	

7 各種行事等

(1) 創立記念演芸大会	5月 7日
(2) 歯科相談	6月 3日
(3) 七夕演芸大会	7月10日
(4) 秋の文化祭	9月16日～18日
(5) 秋の演芸大会	9月18日
(6) 折橋町4組敬老会	10月 1日
(7) 折橋町1組敬老会	10月16日
(8) 歯科相談	11月 4日
(9) 避難訓練	11月10日
(10) 年忘れ演芸大会	12月18日
(11) 講座事始め式	1月15日
(12) 天竜保育園園児交流会	2月14日
(13) 避難訓練	3月 5日
(14) 春の文化祭	3月10日～12日
(15) さくら祭り演芸大会	3月12日

※ 公開講座

4月13日	上手な電気の使い方	久家しのぶ(九州電力)
5月17日	慢性腎臓病について	西川泰彦(千住病院)
6月15日	介護保険制度について	西尾祐二(市長寿社会課)
7月20日	ほとけ様の価値観	富永浩樹(妙行寺)
9月29日	高齢者の交通安全	佐世保警察署(交通課)
10月19日	後期高齢者医療制度	森(市医療保険課)
11月17日	肝臓病について	谷岡一(千住病院)
12月14日	火災予防と緊急時の対応	佐世保中央消防署
1月26日	あなたの記憶力はどのくらい?	大塚(長崎県立大学看護学科教授)
2月15日	楽しく過ごす日々是好日	須川憲司(西方寺副住職)
3月15日	高齢者の消費者被害・悪徳商法	荒木(消費生活センター)

老人福祉センターあたご荘事業報告

高齢者の皆さんが、施設の利用をとおして相互の親睦と心豊かな人間関係を育むとともに、健康相談等による健康管理、浴場、趣味及びレクリエーションの提供、便宜を図り、健康で明るく心豊かな生活の向上に資するよう努めた。

また、施設整備においては、受電設備トランス取替工事、楠木剪定工事などを行った。

1 職員数

所 長 1 名 事務員 1 名 管理員 1 名 パート職員 3 名 計 6 名

2 利用者数

(1) 年度別

年度	利用者数 (名)	月平均 (名)	1 日平均 (名)	開館日数 (日)	1 日の利用者数	
					最高(名)	最低(名)
26	24,773	2,064	83	298	173	29
27	22,403	1,867	75	297	182	5
28	22,083	1,840	75	296	156	36

(2) 利用券別

(単位：名)

年度	総 数	回数券	老人券	一般券	学生券	団 体	無 料
26	24,773	20,602	2,970	436	17	463	285
27	22,403	18,681	2,748	479	27	461	7
28	22,083	18,695	2,580	319	62	427	0

3 利用料収入

(単位：円)

年度	利 用 料	月 平 均	1 日 平 均
26	3,105,070	258,756	10,420
27	2,823,570	235,298	9,507
28	2,773,420	231,118	9,370

4 健康相談者数

(単位：名)

年度	健康相談	月平均	歯科相談
26	158	19	13
27	143	12	19
28	143	12	26

5 クラブ活動

ク ラ ブ 名	部 員 数 (名)	開 催 回 数
詩吟教室 (A)	4	週 1 回
囲碁未来教室	10	週 1 回
松下囲碁クラブ	10	週 1 回
囲碁中央研究会	13	週 2 回
筆ペン (光明習字塾)	10	週 1 回
吉元舞踊クラブ	6	週 1 回
将 棋 (西肥バス)	10	月 1 回
あたごフラダンス	12	月 4 回
さくら会	6	月 2 回
囲 碁 (欄可)	8	月 2 回
詩吟教室 (B)	4	月 3 回
KARAOKE 友の会	7	週 1 回
バンド (佐世保マ&XO-)	7	週 1 回
合 計	107名	

6 各種行事

(1) 健康相談	毎月第三金曜日
(2) 歯科相談	6月17日
	11月18日
(3) 春の演芸大会	4月17日
(4) 北部地区老人クラブ連合会演芸大会	5月11日
(5) 相浦地区老人クラブ連合会演芸大会	6月22日
(6) 納涼演芸大会	7月24日
(7) 中里上地区公民館敬老会	9月22日
(8) 施設訪問 (中里・皆瀬健康ウォーキング)	11月12日
(9) 消防訓練 (避難訓練・消火訓練)	11月13日
	3月11日
(10) 年忘れ演芸大会	12月 4日
(11) 中里地区老人クラブ連合会新年会	1月25日
(12) 節分 (豆まき)	2月 3日

老人福祉センターよしい荘事業報告

老人福祉法に定める老人福祉センター設置運営事業要綱に基づき、地域の高齢者に対して各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上、趣味及びレクリエーションのための便宜の総合的供与を行い、健康で明るく心豊かな生活の向上に努めた。

また、施設整備においては、浴室の男湯、女湯の間仕切壁のガラスブロック部分のひび割れによる改修工事並びに、大広間・ロビーの空調機の老朽化による修繕工事を行った。

1 職 員

所 長（吉井支所長兼務） 1 名 事務員 1 名 計 2 名

2 利用者数

（1）年度別

年度	利用者数 （名）	月平均 （名）	1日平均 （名）	開館日数 （日）	1日の利用者数	
					最高（名）	最低（名）
26	3,687	307	15	242	52	2
27	3,394	283	14	242	55	2
28	3,740	312	16	241	54	2

（2）利用券別

（単位：名）

年度	総 数	回数券	老人券	一般券	学生券	団 体	無 料
26	3,687	1,460	970	2	0	—	1,255
27	3,394	1,579	813	32	0	—	970
28	3,740	1,880	995	11	0	—	854

3 利用料収入

（単位：円）

年度	利 用 料	月 平 均	1日 平均
26	317,480	26,457	1,312
27	313,500	26,125	1,295
28	383,140	31,928	1,590

4 健康相談者数

（単位：名）

年度	総 数	月 平 均
26	64	5
27	73	6
28	92	8

5 講座及びクラブ活動

ク ラ ブ 名	部員数（名）	開催回数
中央シルバーサロン	7	月 1 回
元気女子会サロン	10	月 2 回
老人クラブ	50	月 1～2 回
合計 3 クラブ	67	

6 各種行事等

- (1) 健康体操の日 毎週水曜日
- (2) 喫茶の日 毎月第2・4金曜日
- (3) たよりの発行 年1回
- (4) 健康相談 毎月第2金曜日
- (5) 歯科相談 6月10日（金）・11月11日（金）
- (6) セタ会 7月29日（金）
- (7) 敬老会 9月16日（金）
- (8) クリスマス会 12月16日（金）
- (9) 大掃除 12月26日（月）
- (10) 火災避難訓練 3月6日（月）

7 公開講座

- (1) 3B体操講習会（第1回）5月25日（水）
- (2) 介護保険制度改正のポイント（吉井地域包括支援センター）6月27日（月）
- (3) 3B体操講習会（第2回）11月28日（月）
- (4) 東日本・熊本地震被災地支援活動報告（吉井介護事業所長）11月14日（月）
- (5) 3B体操講習会（第3回）1月23日（月）
- (6) 認知症予防 脳を元気にする方法（吉井地域包括支援センター）2月27日（月）
- (7) 3B体操講習会（第4回）3月27日（月）

宇久高齢者生活福祉センター慈恵苑事業報告

入居者に対して介護支援機能・居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、安心して健康で明るい生活を送れるように支援するとともに、福祉の増進と安定を図った。

1 職員体制 施設長（主任）1名 生活援助員2名（うち代替1名） 管理員2名

2 居住者 平成28年度末17名（平成27年度末17名）

3 職員目標 ①入居者の人格を尊重する。
②入居者の能力に応じた自立支援を行う。
③ご家族と連携を図り適切な支援を行う。
④地域や入居者間の交流支援に心がける。

4 会議 毎日（朝） 宿直との引継ぎ、業務報告（必要時ケース会議）
宇久支所訓を呼称
毎月（月初め） 社協の各事業の業務連絡会議
毎月（月末） 居住者の状態を全員で把握し、対応等について打合せ
年（1～2回） 家族と行政と社協とによる家族会議
年（2回） 居住者と職員による苑内会議

5 日課 9時00分 ラジオ体操～居住者及び職員参加
16時00分 リハビリ～手拭体操
趣味～折り紙・読書・お経・四季の行事
活動～庭の草取り・おしぼり洗いたたみ・行事の準備等
入浴（週3回 火・木・土）他、シャワーも必要時

6 定期行事等

	行 事		行 事
4月	花見	10月	祭り見学
5月	母の日、蛍見学	11月	文化祭、産業まつり見学
6月	父の日	12月	クリスマス忘年会
7月	七夕交流会	1月	新年会
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老の集い	3月	ひな祭り

- ・誕生会（隔月） デイサービスと合同で実施
- ・清掃の日（月1回） 通常より丁寧に居室の清掃。希望により職員も支援
- ・防災の日（月1回） 居住者やデイサービスとの合同避難訓練・職員研修
- ・居室訪問（月1回） 看護師と生活援助員で健康チェック及び生活衛生面への助言
- ・新聞「ゆかり」の発行（年3回） 家族への情報提供

江迎高齢者生活福祉センター槇の木庵事業報告

入居者に対して介護支援機能・居住機能及び交流機能を総合的に提供する事により、安心して健康で明るい生活を送れるように支援するとともに、福祉の推進と安定を図った。

1 職 員 施設長生活援助員 1 名・生活援助員 2 名・宿直員 3 名（シブ-人材センター委託）

2 居 住 者 平成 28 年度末 6 名 （平成 27 年度末 7 名）

3 職員目標 ①入居者の人格を尊重する。
②入居者の能力に応じた自立支援を行う。
③ご家族と連携を図り適切な支援を行う。
④地域や入居者間の交流支援に心がける。

4 会 議 毎朝・夕 宿直員との申し送り
毎週・月曜日 業務報告（必要時ケース会議）
年間（3 回） 入居者、行政、社協との連絡会

5 日 課 8 時 00 分 自動血圧測定（変動時、看護師測定、健康相談）脈拍測定
9 時 30 分 ラジオ体操 梅干し体操 がんばらんば体操
脳トレーニング 園芸 トランプ オセロ 折り紙
カラオケ レクリエーションゲーム テーブルゲーム
13 時 30 分 入浴（週 3 回 月・水・金）他、希望時対応シャワー浴等

6 定期行事等

	行 事	点検・訓練等		行 事	点検・訓練等
4 月	花見（鹿町町） カラオケ大会	エアコン点検 電気点検 ADE 研修	10 月	デイサービス・槇の木庵 合同運動会 パン教室	防災総合訓練 （夜間訓練）
5 月	母の日お祝い会 （プレゼント・会食） （カラオケ・レクリエーション）	合同避難訓練 電気工作物年次点検	11 月	合同食事会（イッワイ） 町文化祭作品出品 うどんバイキング	合同避難訓練
6 月	父の日お祝い会 （プレゼント・会食） （カラオケ・レクリエーション）	エアコン修理 施設モニタリング	12 月	忘年会（会食） 合同クリスマス会 （お楽しみ抽選会）	非常灯点検 非常ベル点検
7 月	外食 七夕交流会 幼稚園と手遊び	消防設備点検 避難訓練	1 月	正月祝い膳会食 新年会（レクリエーション）	消防設備点検
8 月	千灯呂まつり見学	電気点検	2 月	節分豆まき パン教室	消防設備査察
9 月	敬老祝賀会 江小児童手紙交流	電気点検	3 月	ひな祭り	建物点検 非常灯点検

・（随時開催）誕生会・入居者の誕生月 （会食・レク） ・毎月の制作（貼り絵等）

宇久地域包括支援センター事業報告

宇久地域に暮らす高齢者の相談窓口として、高齢者自身の意見を尊重し、自助努力を基本に住み慣れた環境の下で、自分らしい生活を維持できるよう支援に努めた。

また、宇久地域包括ケア会議及び地域ケア会議を年4回開催し、地域の高齢者を支える関係機関との情報を共有する機会を設け、広域的な支援体制づくりに努めた。地域に出向き高齢者実態把握の実施、いきいき100歳体操普及のため自主グループ活動支援に努めた。

1 職員体制 所長（兼）1名、社会福祉士（兼）1名、主任介護支援専門員 3名

2 開所時間 9：00～18：00

※月曜日～土曜日

3 相談実績 （1）総合相談業務実績

①分類別相談件数（延べ件数）

虐待	1
権利擁護	2
消費生活	9
介護相談	43
生活不安	198
関係事業所への不満	1
ダブルケア	0
介護保険関係	93
施設入所	17
栄養相談	0
2次予防	12
その他	21
合 計	397

②相談受付状況（実件数）

※受付方法

電話	115
窓口	234
訪問	26
所内（ケアネ）	6
合 計	381

※相談者の続柄

本人・家族	212
地域	44
関係機関	116
その他	9
合 計	381

（2）包括的・継続的なマネジメント業務

（延べ件数）

医療機関との連携	16
認知症疾患医療センターとの連携	12
民生委員との連携	35
関係機関との連携	86
その他会議	114
地域活動出席	25
合 計	288

（3）指定介護予防支援業務

予防給付管理数（延べ）	587
月平均	49